



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2023/04/22

あっさり黙示録 #59

地上再臨のキリストが持つ秘められた名とは

黙示録 19 章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。今日は**あっさり黙示録** 59 回目です。
その前に、一つ見ていただきたい YouTube チャンネルが出来ましたので、ここで推薦させていただきます。『かんくんちゃんねる』。
私が信頼している友人が家族総出で作っている、子供向けに分かりやすく説き起こした、創造論のチャンネルです。子供向けと言いましたが、子供でも分かる・子供でも理解しやすいようなチャンネルということで、内容は決して子供じみていません。大人が見ても「なるほどな!」と感心していただけたと思います。
毎週水曜日にアップされますので、ぜひご最良のほど、チャンネル登録もよろしくお願ひします。

さて、今日はキリストの地上再臨についてお話しします。
エルサレムに地上再臨されるキリストのことを、**黙示録**では3つのタイトルで呼んでいます。このタイトル(名前)の意味を知ることによって、地上再臨のキリストの本質を知ることができるのです。

黙示録 19 章

22 その目は燃える炎のようであり、その頭には多くの王冠があり、ご自分のほかはだれも知らない名が記されていた。

①再臨したキリストの目は燃える炎のよう

これは何を表しているのでしょうか。

箴言(しんげん) 17 章

3 銀にはるつぼ、金には炉、人の心を試すのは主。

るつぼは金属を溶かす器ですね。銀や金は高熱で溶かして純度を試していくように、人間は神に試されて、その本質が明らかになると言っているのです。

その目は燃える炎のようだ。

人の本質を一発で完璧に見抜く力を持っている方、それがキリストだ。

この能力は、審判者としての性質を帯びておられることを示唆しています。

②その頭には多くの王冠がある

黙示録にはやたらと冠が出て来るのですが、冠は2種類あります。

★勝利者が獲得する冠。競技に打ち勝って、ご褒美でもらう冠。

★王冠。ギリシア語では別の言葉が使われていますが、王だけが被れる冠。

王冠をかぶった地上再臨のキリストがエルサレムに下りて来られる。

これは、反乱軍討伐のために下って来られることを物語っているのです。

③ご自分のほかはだれも知らない名が記されていた。

その王冠には名前が記されているが、それはご自分のほかはだれも知らない。

ところで、聖書で**名／名前**という時、これは単なる記号じゃないんです。

本質を表すものとして取り扱われているんですね。

私たちの世界では、名前は必ずしも本質を表してはいませんよ。

ガリガリの太（ふとし）君とか、いつもやかましい静（しずか）ちゃん、あり得るじゃないですか。

しかし、聖書に登場する名前、特に神に関するお名前は、そのまま神の本質を表しているのです。旧約聖書に「**神の名を汚してはならない**」とありますが、これは「神を汚してはならない」と全く同じ意味です。神の名は神ご自身とイコールです。神の本質そのものを表しているのが神の名なんですね。

ご自分（イエス・キリスト）のほかはだれも知らない名。

ご自分（イエス・キリスト）のほかはだれも知らない神の本質。

イエス・キリストはそれを知っているということです。

私もクリスチャンの端くれとして神を知ってます。しかし「神を知り尽くしてませんか」と聞かれたら、「滅相もないことです」と言わざるを得ません。

私はイエス・キリストを知っています。知っているからこそ、このように皆さんに紹介させていただいています。しかし「イエス・キリストを知り尽くしているのですか」と言われたら、「とんでもない。ほとんど知らないのとイコール程度の知識しかない」と考えています。それは、キリストがあまりにも深すぎるからです。

私はキリストの愛を知っています。自ら受けて感激して、それでクリスチャンになったんです。しかし「キリストの愛を知り尽くしているのですか」と言われたら、いやいや、ほとんど知ってはいないのです。

神の本質をことごとく、すべて知り尽くすことができるのは神だけです。

神以外はだれも知り得ない本質を、地上再臨のキリストはご存知であった。

すなわち、“白い馬にまたがった地上再臨のキリスト、その本質は神なのだ”ということ、ここで語っているわけです。

反乱軍を完全討伐するために、神がキリストとなって天から下りて来られて、ハルマゲドン戦争を戦う。これが地上再臨の目的の一つなんですね。

あと二つタイトルが出て来ますので、次回その解説をします。

よろしければ、またお付き合いください。チャンネル登録もお願いします。

ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。

皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！

☆引用；日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017